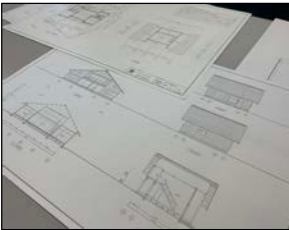




Pick Up News 前期はほぼ試験を残すのみとなりました。今期、目標通りの学びができましたか? 1年生の皆さんは、高校とは違う学修の形や内容にも慣れた頃でしょう。最終の試験、レポート提出など成果を残せるよう頑張ってください。昨年からは建築士法が改正され建築士試験の受験資格が変わりました。本学の場合、一級建築士試験は大学卒業と同時に全員が受験できることとなりました。また二級建築士試験は、工業高校で建築を学んだ学生は在学中に受験できるようになりました。そして今年、何名かの学部生(2~4年生)および大学院生が二級建築士試験にチャレンジし、複数名が学科試験に合格したという、うれしい連絡がありました。9月の製図試験に向けて頑張ってください。宅建試験に取り組んでいる人にとっても夏休みが勝負です。頑張ってください。皆さん有意義な夏休みとしてください!



新しい教員が加わります 8月から新しい教員が加わります。環境工学分野で都市防災にご専門の鍵屋浩司先生です。本学建築学科の研究領域がさらに広がります。**学習室・作業室の開放** コロナの影響もあり、感染予防の観点から利用を見合わせていた学科の共用スペースの利用を1年ぶりに再開しました。利用者は感染予防対策を徹底して、ルールを守って利用してください。3階奥の作業室はもともと4年生の設計作業室でした。コロナ禍でもありこれまでのような利用ができないことから、全学年に開放した学習・作業のスペースとして活用することにしました。コロナ対策はもちろん、清掃や環境整備も含めて利用者の自主性に頼ることになります。有効に活用してください。**卒業設計コンペで受賞** 本学を卒業して信州大学大学院に進学した今野琢音くん。本学卒業時に取り組んだ卒業設計が「第18回集合住宅再生・団地再生・地域再生学生賞」の奨励賞を受賞しました。**福屋准教授が設計した施設が公開** 福屋稗子准教授が共同主催する建築事務所が設計した震災遺構石巻市大川小学校が公開されました。大川震災伝承館の建築設計は、福屋准教授の他、構造設計は本学建築学科を卒業した小西泰孝氏(小西泰孝建築構造設計代表・武蔵野美術大学教授)、遺構保存に関する提案は井上剛志氏(構造計画代表・本学建築学科非常勤講師)が担当しています。ぜひ、足をお運びください。**設計課題作品のWEB公開(更新)** 各学年の設計課題優秀作品をWEB(ホームページ)に公開(更新)しました。1年生は2年生、2年生は3年生の作品を見ることで、1年後のイメージができることでしょう。3階サポートセンター前のモニターでも常時観ることが出来ます。

今年度の2年生・3年生の設計課題作品(前期・前半)は学科ホームページで公開中。1年生も頑張っています。



8月着任!
建築学科教授
鍵屋 浩司 先生
かぎや こうじ

8月から環境系の教授として着任します。前職は国土交通省の研究所で、都市や建築の防火基準や都市計画手法に関する研究に携わっていました。特に木材利用促進や避難に係る火災安全の基準づくりや地震火災などの防災まちづくりの研究、ヒートアイランド対策や低炭素都市づくりといった環境に配慮した都市計画の研究を行ってきました。建築やまちづくりの立場から、「こんなモノがあったらいいな」とか、「こんなことができたらいいな」といった夢を自由な発想と技術的な可能性で裏付けて、日常の生活を安心で豊かなものにする方法を「かたち」にして、社会に向けて皆さんと一緒に提案していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



2階の学習室と3階の作業室。作業室は学生有志が清掃・整備してくれました。感染予防対策のため利用のルールを守って、自主学習に大いに活用してください。



Please follow us!
学科instagramはじめました。学科の日常の風景を写真でお届けします。よろしくお願いたします。

Pick Up Lab. 船木研究室では、振動測定によって建物の安全性を評価する手法の開発に取り組んでいます。建物は人が感じられないレベルで常に震動しています。これを常時微動といいます。特殊なセンサーを用いて建物の常時微動を測定し、その結果から耐震性能を評価します。先月、研究室の学生と登米市内にある病院建物を測定してきました。この建物は、東北地方太平洋沖地震の前後にも測定を行って「地震後も耐震性能が低下していないこと」を確認しています。今回の調査は、その後何度か大きな地震を経験したので、耐震性能の変化を確認するために実施しました(人間でいうと健康診断のようなものです)。



測定の様子



センサーを設置している様子



Pick Up Student 私は今年の4月末にユアテックから内々定を頂きました。学校推薦をもらうことができ、試験は面接と小論文のみでした。私自身高校が普通科であり、1年生の頃は建築の勉強に苦戦しましたが、2、3年生になり、就職を意識するようになってから学校の成績も上がっていき何とか学校推薦を得ることができました。就職活動は早めに行うことが就職活動を成功させる上で大切なことだと感じました。だいたいの方が大学卒業で就職活動をすると思うので、この大学生活の4年間は人生がかかっていると思って勉強と遊びを本気で頑張っていきたいと思います。私は結果として工大の建築学科に入って希望の就職先に行けたのでとても充実した大学生活を送ることができました。



Pick Up Student 高校で建築を学んできましたが、より深く建築について学びたいと思い進学しました。入学してからあっという間に7月になりました。最初は初めてのことばかりで不安が大きかったのですが、友達が出来たことでとても楽しく過ごせています。課外活動では「仙台建築都市学生会議」に参加していて、工大や他大学の先輩方の建築の話聞く事が出来る貴重な時間になっています。これからも積極的に課外活動へ参加して知識を深めていきたいと思っています。私はまだ将来のことが明確に決まっていますが、専門の知識を持った先生方の講義を受けて興味のあることを明確にしていきたいです。大学生活が充実したものになるよう、様々なことに挑戦していきたいと思っています。

4年 今野 健太郎 くん
登米高校 出身

1年 佐藤 朋香 さん
白石工業高校 出身